

- 7日、ストゥブ・フィンランド外相の来訪

A. 主な動き

1. 内政

▼ 憲法78条改正のための国民投票

- ・6日、憲法裁判所は、A EIによって提出されていた憲法78条改正のための国民投票の実施案の合憲性を確認。
- ・6日、共産党は、国民投票による憲法改正が「全議員の2/3以上の賛成をもってのみ憲法は改正さる」と規定した憲法143条に違反するため法的効力を持たないとA EIを非難。
- ・7日、共産党は、国民投票以外の妥協案、及び議会解散の日程の設定をA EIに要求。
- ・7日、議会は、国民投票の9月5日実施を決定。
- ・8日、共産党は、7日の議会による国民投票実施日の決定は「憲法裁判所の承認を得た後、60日間の審議を経て議会に提出される」と規定した憲法143条及び150条に違反するとA EIを非難。
- ・9日、中央選挙管理委員会は、9月5日に憲法改正にかかる国民投票を実施するための日程計画を承認。同計画によれば、7月10日より8月10日の間に住民登録に基づき選挙人名簿が作成され、その後8月16日までに自治体首長により同名簿に署名がなされ、8月16日より26日の間に中央選挙管理委員会による同名簿に基づいた実地調査が行われる予定。

▼ 政党の動き

- ・7日、共産党は、1日に民主党に加入することを表明した国立大学8校の学長に辞任を要求。
- ・8日、議会外政党「統一モルドバ」は、ギンブ大統領代行の罷免を要求する抗議活動を実施。これに対し、ルプ民主党党首は、ギンブ大統領代行が議会において罷免（罷免のためには全議員の3分の2（67名）の賛成が必要）される可能性は全く無いと反論。
- ・8日、憲法裁判所は、共産党が提出した、ギンブ大統領代行による6月28日の「ソ連占領記念日」制定の違憲誓願の審議を12日に行うことを発表。
- ・8日、A EIは、共産党が今後も議会に復帰しない場合、同党議員の給料を削減すると警告。
- ・8日、議会外政党「キリスト民主同盟」は、第三勢力として議会に復帰する意欲があると表明。
- ・8日、共産党は、ギンブ大統領代行が12日に議会解散を宣言すれば、議会に復帰する用意があるとA EIに対し通告。

・8日、民主党は、約160名の著名スポーツ選手・コーチ・関係者等が同党に加入したと発表。

・9日、ヴォローニン前大統領は、議会の早期解散を拒否し国民投票を利用して議会における連立各党の優位性を保持しようとしているとして、A EIの姿勢を批判。

・9日、ディアコフ民主党名誉党首は、政治危機脱却に向け国民投票及び期限前議会選挙後に共産党を含めた全政党による協議を行う必要があると発言。

▼ 洪水の被害

- ・9日、イオニタ経済・予算・財政委員会議長は、ハンセスチ地域の洪水被害者援助のために、議会は25万9千レイを拠出することを発表。内訳は、A EI所属各議員が拠出した14万5千レイと共産党議員の議会不参加等によって議会に貯蓄された11万4千レイ。
- ・9日、ラドゥカン地方発展建設相は、2週間以内に洪水被害者のための家屋の再建を開始し、11月までに終了させる計画を発表。

2. 沿ドニエストル

・5日、沿ドニエストル「当局」は、ヴァルダニヤン記者の拘束期間を30日間延長。

・9日、ラヴロフ露外相は、A EIが沿ドニエストル問題に関し共通の立場を提示できないため、沿ドニエストル問題の解決プロセスが停滞していると発言。

3. 経済

・6日、フィラト首相チャードリー駐モルドバ米国大使は、モルドバの経済成長のため、米国がモルドバに対して1010万米ドルの融資を行う合意に署名。合意によると、資金はモルドバにおける農業生産性向上、IT産業及びワイン産業の発展、中小企業の生産性向上等の分野に使用。

4. 外政

▼ 7日、ストゥブ・フィンランド外相の実務訪問

・レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、ストゥブ外相と会談、経済協力、モルドバ・EU間対話及び査証自由化合意等につき協議。ストゥブ外相は、フィンランドがモルドバの友好国であり、モルドバの欧州統合を支援すると発言。

▼ その他

・5日、ポーランド外務省は、現時点で「東方イニシアティブ」の枠組みで改革実施合意に署名しているのはモルドバのみであり、モルドバが民主スタンダード導入を目的とした改革実施に対し2014年までに4000万米ドルを得ることにな

ると発表。

・9日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相とバコンスキ・ルーマニア外相は、在バルティ・ルーマニア領事館の開館式

に出席。レアンカ外相は、在バルティ及び在カフル・ルーマニア領事館の新規開設は両国にとって重要な行事であると発言。

B . その他の動き

7 / 6 (火)

・ギンプ大統領代行は、徴集兵の除隊に関する大統領令に署名。モルドバでは年に2回、約3000人を徴集し、約3000人を除隊させている。

7 / 9 (金)

・マリヌタ国防相は、モルドバ軍関係者が洪水被災者のために1日分の給与を寄付すると発言、寄付総額は20万レイ。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)